２０１５年（平成２７年）１月発行

なかま

第４８号

発行者　益田市保育研究会
情報発信委員会
事務局　〒６９８－００３６
益田市須子町３－１
ＴＥＬ　２３－３６０７
ＦＡＸ　２２－３５５４

新年あけましておめでとうございます。ついに平成２７年が始まりました。今年は４月から保育制度が変わる年でもあります。先日も子育て支援課の職員さんが各園を回り保護者説明会を行っておられましたが、４月以降、保護者さんも現場も混乱をしてしまうことがあるかも知れません。間違った解釈、間違った対応をしないためにも一人ひとりが正しい知識を得ておく必要があります。新制度初年、会員同士、相互に協力し合いながら、スムーズに移行できる環境を整えましょう。

子育てブラックジャック講演会

奥田さんの講演会は、私たち保育士にとってとても衝撃的な内容ばかりでした。子どもと信頼関係があるからこそ、支援ができると思っていたのですが、奥田さんにとっての支援は、信頼関係ができた時点で支援は終わっていると言うのです。「その子のことを知っている」「その子と信頼関係ができている」ことは重要ではなく、いかに適切な支援をすることで、その子の気になる行動をやめさせるかということだと言っておられました。

では、その行動をやめさせるための支援方法として、奥田先生から２つのテストを教えてもらいました。「死人テスト」と「具体性テスト」です。

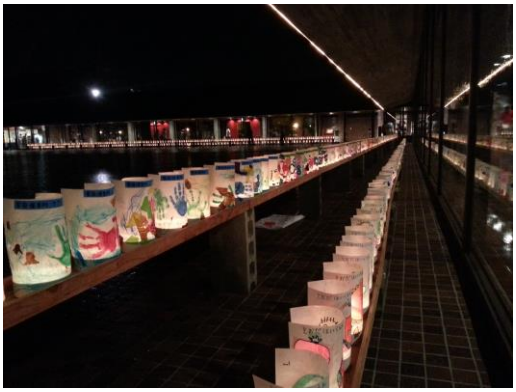
まず「死人テスト」というのは死人でもできるというのは行動ではないということです。例えば、握手をする、小さな声で話す、頭で考えるなどは、死人ではできないことなので行動ですが、しゃべらない、じっとしているなどは死人でもできることなので行動とはならないのです。これからわかることは、私たちが子どもに対してかけている声掛けはどうでしょうか？「今はしゃべらないで」「じっとしておくんだよ」などと声をかけてはいないでしょうか？子どもが行動できる声掛けにかえることで、子どもの行動がかわってくるのではないかと思います。

もう１つの「具体性テスト」は具体的に行動することです。例えば、よく月案などに「順番のルールを理解する」や「数字に親しむ」と書いてしまいます。では、具体的には子どもは何を経験するのかを考えた時に「順番のルールを理解する」ではわからないので「順番に従って並ぶことができる」や「数字に親しむ」は「数字のマッチングができる」などと具体的にまた、それができているかどうか、第３者が見てわかるということが重要なのです。

今回の奥田さんの講演会に参加して、とっても衝撃的で、でも「なるほどそう考えればいいのか！」と思える内容がたくさんありました。私たちにも保育現場で実践できることがあったように思います。これを日々の保育に取り入れて、その子にとって必要な支援は何だろう？と日々考えながら保育していきたいと思いました。

親子キャンドルフェスタ２０１４inグラントワ

今年で９回目となる、こっころ親子キャンドルフェスタが９月６日にグラントワで開催されました。このイベントは、益田市保育研究会とかのあし保育協議会の加盟園４１園、そして益田市内の幼稚園３園が参加して開催いたしました。子ども一人ひとりが、竹と和紙を使い思い思いのキャンドルランタンを制作し、グラントワの中庭広場水盤を彩ります。約１４００個のキャンドルが幻想的な空間を創りあげました。今回は雨の中での開催となり親子でランタンに火を灯すことができませんでしたが親子で楽しいひとときを過ごされていました。ステージでは、しまねのゆるキャラが大集合したり、保育士バンド「シュークリーム」の演奏やエンディングでは、ビートルズトリビュートバント『ＮＯＷ　ＨＥＲＥ』のコンサートなどイベントを盛り上げていました。今年は、「しまねっこ」が“しまねっこダンス”を披露してくれて会場は大賑わいでした。来年も遊びに来てほしいですね！大ホールホワイエでは親子で体験するコーナーなどお楽しみブースが出展されました。保育研究会も調理担当者部会のおにぎりの販売や男性保育者部会のミニ神楽面作りなどのブースを出展しました。調理担当者の３種類のおにぎりは早々に売り切れ、男性保育者部会のミニ神楽面作りも列ができるほど好評で、用意した神楽面約５０枚すべて完売となり、親子で楽しい製作体験となりました。また、ボランティアスタッフとしてお手伝いいただきました先生方、雨の中大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



この親子キャンドルフェスタは、島根県少子化対策推進室（こっころ）と協力し、子育て家庭に体験活動の楽しさを伝え、子どもの健全な育ちを支援する目的で開催しております。また、今年は８月に発生した集中豪雨で大きな被害を受けた広島市の１日も早い復興を願い、チャリティイベントも兼ねて開催させていただきました。参加していただいた多くの方に賛同していただき、多くの義援金が集まりました。今年はあいにくの天候で、グラントワ室内での開催となりましたが、多くの方にお越しいただき、親子でふれあいながら楽しんでいただけたのではないでしょうか。

来年は、１０周年となるキャンドルフェスタ。親子で楽しめる企画を用意して開催するする予定です。

保護者会連合会主催イベント

かぞくであそぼう！

平成２６年１１月２４日、万葉公園“太陽の広場”で保護者会連合会主催の親子対象イベント『かぞくであそぼう！』が開催されました。当日は親子約８００名という多くご参加をいただき、親子で楽しんでいる姿がたくさんありました。〈家族で学ぼう！〉では、移動動物がやってきて、ヒツジ、ヤギ、ウサギ、モルモットなどかわいい動物たちとふれあいました。ドックセラピーでは、スタッフの方の指導のもと、ワンちゃんとのふれあい方を丁寧に指導していただきました。子どもたちはもちろんお父さん、お母さんも一緒に楽しいひと時を過ごされていました。〈家族で作ろう！〉では、竹ぽっくりやブンブンごまなど竹を使っておもちゃを作りました。自然のものを使って遊ぶことの面白さを親子で実感していただいたのではないでしょうか。

今回、当日飛び入り参加の親子も多く、たくさんの方々に足をはこんでいただきました。かわいい動物たちや自然の物をとおして、親子同士ふれあいながら楽しんでいただき、この親子活動をとおして気づきや学びがあったのではないでしょうか。保護者会連合会の皆さん、お手伝いいただいた職員の皆さん、お疲れさまでした。

保護者連合会の皆さん、ありがとうございました！

保育研究会のホームページがリニューアルしました！

今までより見やすく、操作しやすくなりました！
スマートフォンや携帯電話（一部の機種を除く）からもご覧にいただくことができるようになりました。
会員園の紹介や講演会・研修会の予定、各委員会のなどの活動報告もチェックできますよ！

ホームページアドレス　http://masuho-k.jp/

ホームページについて、ご意見や載せてほしい項目などありましたら、ホームページの「お問い合わせ」からお知らせください。

～研究会からのお知らせ～

第 58 回島根県保育研究大会で研究発表をしました

平成２６年１１月８日（土）雲南市加茂文化ホールラメールにて「第５８回島根県保育研究大会」が開催され、益田市保育研究会から調理担当者部会が研究発表を行いました。
「ご飯とみそ汁を作って食べる子を育てよう ！～食を営む力を身に付けた大人になることを願って～」というテーマで、各保育所で取り組んできたご飯とみそ汁を作る活動を中心に研究発表を行いました。

第 58 回全国保育研究大会（秋田市）で研究発表をしました

益田市保育研究会がこれまで５年間取組みを続けてきた「ふるさと教育の仕組みづくり」について、１１月１３日に開催された第５８回全国保育研究大会で発表をしてきました。
講評者の高山静子先生（東洋大学准教授）からも高い評価を頂き、更なる活動推進に向けた励みになりました。

日本教育新聞に取組みが紹介されました

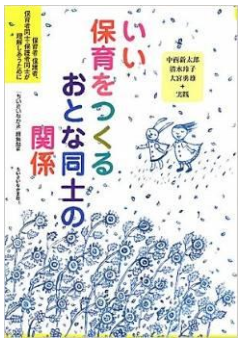
平成２６年（2014年）１２月１日（月曜日）
日本教育新聞
幼稚園・保育園
全国保育研究大会分科会から
川遊びで育む古里への思い
島根県益田市保育研究会
小学生との交流が気付きに
地域と協力、保育者に積極性
保育園 幼稚園

平成２６年１１月１３日に秋田市で開催された第５８回全国保育研究大会での益田市保育研究会の発表について、１２月１日付の日本教育新聞に紹介されました。

※１２月１日付日本教育新聞６面より。著作権は日本養育新聞社に帰属し、記事、画像等の無断転載はお断りします。

日本教育新聞（２０１４年１２月１日号）主要記事概要へのリンク...
http://www.kyoiku-press.co.jp/archives/613

書籍紹介コーナー

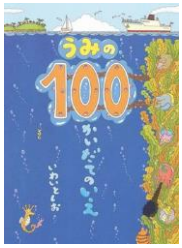


「いい保育をつくる
　　おとな同士の関係」
ちいさななかま編集部
出版社　　ひとなる書房

保護者＋保育者　保育者＋保育者
　　保護者＋保護者
いい保育を作っていくためには必要不可欠な大人同士のよい関係。
「一人ひとりの異なる意見が真摯に受けとめられ、尊重されること」という言葉がぐっと来ます。
誰もが悩みにぶつかる大人同士の関係。よい関係つくりを目指すヒントがたくさんありました。

「それって保育の常識ですか？」
柴田　愛子　著
出版社　　すずき出版

保育の中では当たり前として思っていたことも柴田さんの言葉で考え直すきっかけになりました。前向きで元気の出る一冊です。



「うみの１００かいだてのいえ」
いわいとしお　絵　文
出版社　　偕成社

ご存知１００かいだてのいえの海のバージョン。次は誰が住んでいるのかドキドキわくわく。子どもでなくてもいってみたいですね。

編　集　後　記

今年度も早いもので残りが３ヶ月となりました。年長さんは小学校入学の最終準備を始める頃でしょうか。その他の園児の皆さんは進級するための最後の調整時期でしょう。そして先生方は残りの園行事を行いつつ、保育要録の作成を開始しなくてはならない時期ですね。お正月で少しだけ充電できた力を余すことなく使ってください。インフルエンザ等さまざまな感染症が猛威を振るいだす季節です。くれぐれも体調には気を付けてください。

益田市保育研究会情報発信委員会

委　員　長　本田　行信　（まるに）副 委 員 長　佐々木白文　（遠　田）
委　　員　宇田川亜由美（鎌　手）委　　員　平川　志穂　（ひかり）

この機関紙に対するご意見・ご感想をお寄せ下さい。あて先はこちら↓まで
益田市保育研究会情報発信委員会：メールアドレス　masuho@image.ocn.ne.jp
ホームページ　　：　URL　http://masuho-k.jp/